

今年はインフルエンザA型・B型の両方が同時に流行し、多くの子どもたちが罹患してしまうこととなりました。学級閉鎖にしたクラスもいくつかありましたが、やむを得ないこととして皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。発表会前には欠席者が少なくなってきたのはよかったです。まだ安心できませんので子どもたちの健康管理には十分にご注意ください。

【スマホはゲーム機？】

先日出張のため4時半ごろの電車に乗ったところ、近くのドアから乗車してきた上級生の児童4人が、スマホを取り出し操作し始めました。話を聞くと、ゲームをしようとしていたそうです。突然私から声をかけられて驚いた様子でしたが、こういうことがいつもの姿なのだろうと思えるほど自然な動きでした。子どもにとってスマホは何？それは、通信機器でありゲーム機でもあるのでしょうか。保護者はそれを十分に承知して機器を持たせているのでしょうかし、子どもに携帯ゲーム機を持たせているという認識もおありでしょう。ですから、少しの時間でもゲームで遊びたいと思う子どもがそれを我慢できないこともお分かりのはずです。ここまで来ると、もうこれは学校で指導できる範囲を超えており、使用についての良し悪しは保護者の判断にお任せするしかないように考えます。小学生に注意をすれば、「だって中高生だって、大人だってやっている」と言いたいでしょうね。小学生だからやってはいけないということの無理もあります。

少し前に、「先生、中学生になったら駅でお菓子買って食べていいんでしょう」と言われました。「いいですよ」とは言えません。この話は朝会でも取り上げました。子どもたちは、普段所構わずものを食べている人、電車内にコンビニなどで買って来たコップに入ったコーヒーなどをそのまま持ち込んで飲んでいる人たちの姿を毎日見ていることなのでしょう。小学生でなくなったらそうしてもいいんだろうなと思いつつも小学生の間はいけないんだと思えるだけでも立派なのかもしれません。

【新聞を広げてみると・・・】

毎日配達される新聞を広げてみます。広告の多さは相変わらずですが、様々な記事の中には、じっくり読みたいと思うもの、見出しだけ見るものなど様々です。ある程度時間に余裕がないと新聞を読むことはできないかもしれませんが、自分の前に広げられた紙面から読みたい記事を探すのはけっこう楽しいものです。インターネットでも多くのニュースは配信されています。でも、誰かに優先順位が決められた記事がならんでいくことが多かったり、自分が知りたいと思うことだけを調べたりするようになっていくことが多くなります。新聞を1枚ずつめくりながら、目に留まる記事を読んでみることを大切にできたらいいと思います。

私は手元に届く新聞の記事の中では特に教育に関する記事は気になるので、そういう記事は、切り取ってノートに貼り付けるようにしています。ノートに貼り付けられた記事は、自分にとって大切な資料となり、いつでも読み返すことができるので便利です。

最近ノートに加わる記事は、いじめに関する記事、2年後の改訂学習指導要領の完全実施に向けての記事が多いです。そこには英語や道徳の教科化についての様々な考えが報じられています。その中で、特に印象に残っているのは、道徳の授業でよく使われる教材の一つである「かぼちゃのつる」についての記事でした。かぼちゃが人の言うことに耳を貸さずにすき勝手につるを伸ばして行き、最後には車にひかれてつるが切れてしまうという内容です。つるをいろいろな方向に伸ばしたがるかぼちゃ、でも、かぼちゃの畑は限られた場所です。つるが切れてしまうことを「わがまま」の「罰」だと思えるように指導するのはいかがでしょうか。教科書では「くるまにひかれたあとでかぼちゃはどんなことを考えたのでしょうか」と子どもに問いかけています。もちろん、そこには望ましい答えがあるように感じます。子どもたちに教え、一緒に考えなければならぬことはたくさんあります。そして、子どもたちが自分で考え、判断できる子どもになってもらうことが大切です。このかぼちゃのように、少しでもルールが守れないと「悪い子」と思われるようではこれも問題でしょう。教室をまわってみると、自分の机のまわりに私物がだらしなく置かれていたり、床に落ちていたりすることがあります。「片づけようね」と声をかければ誰でもできます。こういう子は「かぼちゃ」と同じでしょうか。一人ひとりに今どんな力を身に付けてほしいかを考えて、それを伝えていける学校でありたいものです。

上級生の教室には、最近の気になるニュース、新聞記事が紹介されているときがあります。子どもたちがどのような記事に注目しているのかを知ることは、子どもの今を知ることと通じるものがあると思います。今自分のお気に入りの記事を集めるとしたら冬季オリンピックのニュースでしょうか。時間があるときに、お子さんと一緒に新聞を1枚ずつめくりながら目に留まった記事について話し合う時間をとってみることもまた楽しいのではないのでしょうか。